

飯能の山里に咲いた芸－説経節－特別展・公演会開催

埼玉県飯能市は、市内東吾野地区・虎秀にある落合家伝来の「落合家人形芝居用具及び説経節関連資料」が、令和2年3月に飯能市有形民俗文化財に指定されたことを記念し、説経節をテーマに、飯能市立博物館で10月18日（日）から特別展を、市民会館で12月6日（日）に公演会を開催します。

飯能の山里に咲いた芸－説経節

<https://www.city.hanno.lg.jp/article/detail/3922>



説経節は、中世に起源をもつ語りの芸で、江戸時代に三味線伴奏や人形芝居を加えて人気が高まり、かつては説経節を語る説経師が各地で活躍していました。

飯能市の落合家は、明治から昭和にかけて親子で活躍した三代目、四代目の薩摩千代太夫を輩出し、特に子の四代目薩摩千代太夫は、一世を風靡した説経師・初代若松若太夫も一目置いた名人だったといわれています。また落合家では、後に「片瀬人形」と称される人形芝居も興行していましたが、活動の期間の短さから「幻の人形芝居」と呼ばれています。

■飯能市立博物館 特別展【説経師・薩摩千代太夫と幻の「片瀬人形」】

「説経節」と「落合家人形芝居用具及び説経節関連資料」の世界を紹介します。

会期 令和2年10月18日(日)～12月13日(日) 9:00～17:00(入館は16:30まで)

※休館日：毎週月曜日（11月23日除く）、11月4日（水）、24日（火）

会場 飯能市立博物館 特別展示室ほか

■市民会館 公演会【説経節と八王子車人形】

飯能ゆかりの八王子車人形芝居と説経節がコラボレーションします。

日時 令和2年12月6日（日）13:30（開場13:00）

会場 市民会館 大ホール

出演 三代目若松若太夫、説経節の会、八王子車人形西川古柳座

演目 『三人三番叟』『信太妻 葛の葉子別れの段』『小栗判官 矢取の段』

入場料 全席指定1,000円

※ソーシャルディスタンスに配慮し、席の間隔を空けて開催します。

チケット販売

市民会館、地域活動支援課（飯能市役所本庁舎別館）で発売中

■説経節と「片瀬人形」イメージ



■飯能の山里に咲いた芸－説経節－特別展・公演会ビジュアル



この件に関するお問い合わせ

飯能市立博物館

電話/042-972-1414 FAX/042-972-1431 [E-mail/museum@city.hanno.lg.jp](mailto:museum@city.hanno.lg.jp)

市民会館

電話/042-972-3000 FAX/042-972-3007 [E-mail/shimin-k@city.hanno.lg.jp](mailto:shimin-k@city.hanno.lg.jp)